

「そのとき、ナザレのかいどうでよげんしゃイザヤのしょをよまれた。」イエスは「このせいしょのことばは、きょう、あなたがたがみみにしたときじつげんした。」とはなしはじめられた。みなはイエスをほめ、そのくちからでるめぐみぶかいことばにおどろいていった。「このひとはヨゼフのこでなか。」イエスはいわれた。「きっと、あなたがたは、「いしゃよ、じぶんじしんをなおせ」ということわざをひいて、「カファルナウムでいろいろなことをしたときいたが、きょうりのここでもしてくれ」というにちがいない。そしていわれた。「はっきりしておく。よげんしゃはじぶんのこうきょうではかんげいされないものだ。たしかにしておく。エリヤのじだいに3ねん6かげつのあいだ、あめがふらず、そのちほういったいにだいききんがおこったとき、イスラエルにはおおくのやもめいたが、エリヤはそのなかのだれのもとにもつかわされず、シドンちほうのサレプタのやもめのもとにだけつかわされた。また、よげんしゃエリシャのじだいに、イスラエルのはおもいひふびょうのわずらわっているひとがおおくいたが、シリアじんのナアマンのほかはだれもきよくされなかった。」これをきいたかいどうないのひとびとはみなふんがいし、そうだちになって、イエスをまちのそとへおいだし、まちがたっているやまのがけまでつれていき、つきおとそうとした。しかし、イエスはひとびとのあいだをとおりぬけてたちさられた。

まえのにちようびのつづきで、ナザレでのできごとをくわしくせつめいをしてくださっています。イエスさまのひょうばんをきいて、じぶんたちのところにもたくさんのおしをしてくださるにちがいないとかがえていたひとがいました、またほかのひとは、ここにすんでいたヨゼフのこなんてふしぎなしをできるわけではないとおもっていました。

じぶんたちのりえきになることをイエスさまがやってみせてくれるようもとめました。イエスさまはこのひとたちにたいし、そのようなじぶんちゅうしんのかんがえはまちがっていることをはっきりおっしゃいました。そのためにイエスさまはじぶんのこきょうのひとたちからたいへんにくまれました。

わたしたちも、イエスさまがあじわったおなじくるしみをときどきあじわいます。わたしたちはせいっぱいがんばったのにひとにりかいされなくてとてもつらいおもいをしました。けれどもかみさまはどんなときにもそばにいてちからづけてくださることをかんじています。かならずひとからはんたいをうけたりきらわれたりすることがあります。イエスさまもこのようなけいけんがたびたびありました。

イエスさまはちちであるかみさまがみんなをととてもあいしていることをしらせ、かみさまのおしえにしたがっていきるようにはげました。

みんなどうしたらいいのでしょうか。かんがえてみてね。

わたしは、つぎのようなことをすすめたいです。

こんしゅうは、おともだちのいいところをみつけて、ほめてほしいです。わるいところをみ
ないで、よいところをさがして、ほめてあげてくださいね。

ぬりえ

